

## 道徳学習指導案

授業者 広島市立〇〇中学校  
教諭 〇 〇 〇 〇

- 1 日時・場所 平成20年12月〇日(〇)
- 2 学年・学級 3年〇組
- 3 主 題 名 悩み相談(内容項目2-(3)信頼・友情)
- 4 資 料 名 アンジェラ・アキ「手紙」(平成20年度NHK合唱コンクール中学校の部課題曲),「15歳の悩み相談室」(参考:重松清『みんなのなやみ』をもとに改作)

### 5 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする価値

中学3年生の時期には、互いに心を許し合える友達を真剣に求めるようになる。その友達づくりは、学級等で学校生活を共有するところからはじまり、そこで本音を語り合い、感情や考え方の食い違いから生じるいさかみやきしみを克服することが不可欠である。日々の学級での授業や諸活動、そして行事を通して、自分を成長させ、友達と支え合う経験を積み重ねる中で、友達に対する信頼と尊敬の念が生まれる。

進路選択を控えたこの時期、多くの生徒が、「自分とは何か」「将来どのように生きていくか」を自問し悩んでいる。身近な悩みについて級友と語り合うことで、友達とかかわり合い、支え合う実践的な態度を育てるとともに、友情の大切さにあらためて気づかせたい。

#### (2) 生徒の実態

本学年の生徒達は、学校選択制の導入で、入学者が大変少なかった学年の生徒達であり、本校への進学や進級を契機に、多様な人間性に触れ、深くかかわり合うことが少なく、それまでの友達関係に留まっていることが多い。

本学級の生徒達は、4月当初から、生活面、学習面ともにかかわり合いが薄く、リーダー不在のまとまりにくい集団であった。また、自尊感情が乏しく、学級集団への帰属意識も薄いため、この1年間、行事のたびに、人間関係の掘り起こしと、一人ひとりや小グループへ役割を与える取組を行ってきた。特に、級友の表面的な言動だけでなく、内面的な良さに目が向くよう、授業での評価や学級通信、掲示物等の工夫を通して、一人ひとりを大切にする学級づくりに取り組んできた。これまでに修学旅行、体育大会、合唱祭と、大きな行事に取り組んでくる中で、徐々にではあるが自尊感情が高まり、自己有用感が芽生えはじめている。

しかし、進路選択の時を迎える中で、自分の中の価値基準だけで思い悩んでいる生徒も少なくない。進路の問題に直面している生徒達が、互いの悩みを共有し、友達の成長を心から願って、励まし合い忠告し合えるような信頼関係を育てていきたい。

#### (3) 資料について

「悩み相談」の形式を取り、部活動、恋愛、進路をテーマにした同世代の悩みにこたえて、今後の生き方をアドバイスする、という内容である。

小グループで、または個人で、相談者の悩みに心を寄せ、意見を交流しながら、互いの人格を尊重する視点をもって、克服する方法を考えさせたい。

### 6 事前・事後の指導について(※資料2参照)

- (1) 行事への取り組み。
- (2) 学級通信等の活用。
- (3) 「ちょこっと道徳」の継続。

7 本時のねらい

自分と友達の成長を願って、互いに励まし合える関係を築こうとする道徳的実践力を育てる。

8 指導過程

	学習活動	授業者の問いかけ (○) と指示 (●)	留意点
導入	1. クイズをする。	○今日の道徳のテーマは何でしょう。 ●続きを歌ってください。	・ヒントを出す。 ・『手紙』の歌詞を思い出す。 ・心をほぐす。
展開	2. 中学生の悩み相談にこたえる。  3. 仲間の悩み相談にこたえる。	○みんなは誰に、悩みごとを相談しますか。 ◎どんな人になら、打ち明けられますか。 ●今日は、中学生の悩み相談にこたえます。 ○相談者の手紙は、どこにあるかな。 ○この手紙を、誰か読みませんか。 ●部活動と恋愛の悩みです。どちらの悩みにこたえるかを決めて、移動してください。  ●小グループをつくって、話し合おう。 (○共感できるところはどこか。) ●元の位置に戻りましょう。  ●次は、クラス全員で一つの悩みにこたえます。 ○相談者の手紙は、どこにあるかな。  ●この手紙は、私が読みます。  ◎進路の悩みです。どんなこたえなら、相手を励ませるか、あなたの気持ちを重ねてこたえてみよう。  ●個人で、悩みに対する返事を書こう。 (○共感できるところはどこか。)  ●周りの人と交流してみよう。  ●級友のアドバイスを聞いてみよう。	・場合によっては本当の友達の条件を切り返して尋ねてもよい。(生徒のアンケートを活用してもよい。) ・相談者の手紙を生徒が運ぶ(2通) ・生徒が読む。 ・文面を掲示。 ・自分の体験に照らし合わせて、相手の力になれるかを規準とする。 ・グループで意見交換し、シートにまとめて、黒板に提示する。  ・相談者の手紙を教師が出す(1通) ・教師が読む。 ・文面を掲示。 ・自分も似たような体験や思いがあれば書くようすすめる。〈共感①〉 ・周りの級友と意見交換し、共感できるところをさがす。〈共感②〉 ・進路の悩みの相談者(手紙の主)はクラスの中にいることを告げる。〈共感③〉
終末	4. 合唱を聴く。	●最後に、『手紙』を聴きましょう。	・自分たちの歌声を聴いて、余韻をもたせる。

9 板書計画

